

平成28年度 第1回 宮古市中心市街地拠点施設市民検討委員会 議事録

1. 日時 平成28年5月30日（月）午前10時から11時40分まで
2. 場所 宮古市役所本庁舎 6階 大ホール
3. 出席委員 17名
北原啓司、赤沼正清、志賀政信、小野寺文雄、盛合敏子、津田重雄
中野正隆、中村儀雄、山下修治、福井喜朗、赤沼利彦、鈴木光子
戸田麻子、佐々木慶子、岩田博子、金野侑、泉澤信彦（三上政勝代理）
4. 事務局出席者 14名
宮古市長 山本正徳
企画部長 山崎政典
復興推進課長 多田康
拠点施設推進室室長 岩間健、同主任 竹田真人
都市整備部建築住宅課 建築係技師 宇夫方徹
鹿島建設株式会社東北支店 3名
日本国土開発株式会社盛岡営業所 1名
株式会社久米設計東北支社 2名
株式会社三菱地所設計東北支店 2名
5. 傍聴者 2名
6. 議題 (1) 宮古市中心市街地拠点施設建設事業について
(2) 宮古市庁舎跡地活用に関する検討について
(3) その他
7. 議事録（要旨）
委員長に北原啓司委員（弘前大学教授）、副委員長に寺崎勉委員（商工会議所副会頭）を選任後、議事に入る。
(1) 宮古市中心市街地拠点施設建設事業について

主な意見及び質疑事項

質疑

・昨年11月の会議で公民館等が使えなくなるのではという話をした。拠点の中に公民館を移すのは補助金の関係上不可能であるが、新施設の面積は現在の公民館等の何分の1程度にしかない。また、新施設に公民館が入るという話もあれば、入らないという話もあり、説明に統一性が無い。将来的な計画はどのようなになっているのか。
--

回答

・公共施設再配置計画により、中央公民館及び公民館は廃止という方向性で検討していくことになっている。老朽化した公民館全てを財政の問題から再建することは難しいが、市民交流センター（仮称）と並存する期間も発生する。直ちに廃止ではなく、利

用状況等を見極めながら検討していく。(事務局)
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、建設工事が始まった場合に、トラック等の搬入・搬出を含めた交通量などを実際に説明してほしい。現場周辺には学校があり、生徒の通学等に影響が出る可能性もある。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設工事に当たっては、通学時間等に配慮して工事を進めるように配慮する。また、工事が始まる前に説明会を開催する予定だ。(事務局)
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4ページの地中熱利用や杭の変更について、専門的な部分がわからないので説明をいただきたい。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、地中熱利用設備は環境に配慮して採用を考えたが、実際に採用した場合に日頃のメンテナンスや、災害時の破損したときの修理のコストを考えると、一般的な方式を採用した方がいいということだ。(委員長) ・杭工法は、既製杭を打つ工法を検討していた。周辺の工事实績から地中に比較的大きな転石がある可能性が分かっており、そのような建設工事現場では工法を変更することで時間がかかる、コストが増加するというリスクがある。そのため、現場でコンクリートを流し、杭を造成する工法に変更した。(事務局)
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホールは現状では音等はどの程度遮断されるのか。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計の段階で、1階にあったものを2階に移したので、床の例えばエレキギターや和太鼓のような比較的大きな音の出るものは多少音漏れの可能性がある。ただ1階での活動に大きく影響が出るものではない。(事務局)
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この実施設計に対して意見を反映させられるのはいつ頃までか。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程は資料8ページのとおり、建築確認申請や詳細積算等を考慮すると、2ヵ月から2ヵ月半で設計図を書く必要がある。部屋の仕様等は、当面の期間は意見を反映できる。10月以降は施設の運営等について協議を行っていくことになる。(事務局)
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホールについて、音声に影響の出るフラッターエコーがないようにしてほしい。
<p>質疑(避難通路について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腰壁はあり、掲示板は13ヵ所設置すれば告知効果も期待できる。 ・A案が良いと思う。掲示板を設置するのであれば歩きながら見ることを考慮してほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・D案が良いと思う。掲示板は立ち止まって見られるほうが安心できる。 ・B案が良いと思う。アイーナのような腰壁があった方が良い、ガラスだけでは怖い気がする。 ・避難通路であることを考慮すると掲示板は不要。B案のように腰壁は必要と思う。 ・位置的に西日が強い場所なのでパネルの設置を考えても良いと思う。 ・自由通路として日常的に使ってもらいたい。掲示板を多く設置すれば情報を得ることもできる。 ・腰壁は必要だと思う。 ・掲示板は情報発信に繋がると思う。腰壁は必要である。 ・B案が良いと思う。 ・この通路はガラス構造で作られるため、強度が心配だ。 ・B案が良いと思う。掲示板を設置しても立ち止まってみることはないと思う。 ・物を落とした際などにガラスが破損する可能性があり、腰壁は必要だと思う。D案を採用するのであれば、西側だけではなく東側にも設置し、互い違いになるようにしてはどうか。 ・A案かB案が良いと思う。腰壁を採用するのであれば、人の腰の高さまで高くしたほうが良いと思う。また、熱中症などの対策はすべきである。 ・C案かD案が良いと思う。熱中症を含めた高齢者向けの対策が必要だと思う。 ・JR矢幅駅は橋上駅となっており、高い位置に自由通路があるが、腰壁は無い。高い場所が苦手な利用者は自然と中央を歩いている。この通路はガラス構造だが、蜘蛛の巣などが目立つと見栄えが悪い。また、自転車を押して通れるように造るようだが、若者等が乗って通行する等、そちらの事故の方が気になる。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガラス構造で作るので強度に対する不安はあると思う。また日射や熱射などの不安要素もあるので、空調設備等については検討するように。(委員長)
--

(2) 宮古市庁舎跡地活用に関する検討について

質疑なし

(3) その他

主な意見及び質疑事項
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から柱に関わる部分以外は変更可能と説明があったが、変更がどのくらいまでの部分まで可能なのか説明してほしい。 ・本日説明した和室を例にとると、和室全体の大きさを変更せずに、畳の敷き方や炉の切り方、水屋の作り等を関係団体と協議した。新たに部屋を加えたり、柱の位置を変更することは不可能と考えていただきたい。(事務局)

事務局

次回は7/22に開催する。

以上、閉会。